

日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会主催
第18回医薬品評価フォーラム

イノベーティブ・クリニカル・トライアルへの潮流
～New Normalを見据えて～

日時

2021年4月23日（金）
13:00～17:15

場所

日本薬学会長井記念ホール
（渋谷区渋谷2-12-15）

昨今の医薬品の世界同時開発の潮流の中、日本国内における治験の大部分は「国際共同治験」として実施されており、各製薬企業もその変化には対応してきている。

加えて最近では、IT技術の発展もめまぐるしく、治験においては患者中心、エコシステムなど、新たなイノベーションの波が来ており、日本としてそれに遅れることなく対応が求められている。今回は、今後來たるべきイノベーティブ・クリニカル・トライアルについて紹介すると共に、日本が今後も国際共同試験に参加していくに当たって克服すべき課題などについて、議論する場としたい。

◆開会挨拶

医薬品評価フォーラム代表世話人 豊島 聡

◆抗がん剤の新たな治験デザイン

バイエル薬品株式会社 谷河 賞彦

◆イノベーティブな治験デザインによる希少フラクションの開発

中外製薬株式会社 林 盛彦

◆ポストコロナを見据えたModernizing Clinical Trial Conduct (MCTC) の検討

ファイザーR&D合同会社 北村篤嗣

◆医療機関への来院に依存しない臨床試験手法の活用に向けた検討

～本邦での実装に向けて～

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会・日本イーライリリー株式会社 吉本 雄祐

◆ポストコロナ時代の新たな臨床試験のカタチ

～バーチャル試験・DCT・訪問型試験について～

東京センタークリニック 長嶋 浩貴

◆Virtual Trial-新たな治験のアプローチと日本での展開について

IQVIAサービシーズジャパン株式会社 金子 信太郎

◆コロナ禍で急がれるDCT（分散型治験）への体制づくり

3Hメディソリューション株式会社 成田 昌司、柿木 博之

◆パネルディスカッション

◆閉会挨拶

レギュラトリーサイエンス部会長 合田 幸広

◆参加登録・お問合せ◆

参加費：事前 一般3,000円 学生1,000円／当日（席に余裕のある場合のみ）一般4,000円 学生1,000円

登録受付：2020.12.1（火）～2021.2.28（日）12:00まで。定員に達し次第終了

HP (<https://18th-iyakuhin-hyoka-forum.jimdofree.com/>) からご登録下さい

実行委員長：岡本誠一（PhRMA臨床部会/MSD株式会社）／事務担当：若林（国立衛研）

E-mail：iyaku-forum@nihs.go.jp TEL：044-270-6600（内線1002）

